

○令和8年度白井市学校教育「なしビジョン」
みんなで育てる”しろいのなし” ～7つの取り組み・4つの育み～
育み：①確かな学力 ②豊かな心
③健やかな体 ④持続可能な社会の創り手
取り組み：①「ケアのある協働的な学び」を実現する授業づくり
②生徒指導における「不登校」「いじめ」への対応の充実
③お互いを認め合える学級づくり
④ICTの有効活用＋学校DX
⑤特別支援学級における子ども主体の授業づくり
⑥「体力」「活力」を高める体育指導
⑦自他の命を大切にする健康・安全教育

○学校の状況（令和8年5月1日）

生徒数

	1年	2年	3年	計
男	56	64	73	193
女	53	55	61	169
計	109	119	134	362

【生徒会スローガン】 南中 NHKプロジェクト
N…にげるな勉強 H…はじける挨拶 K…きれいな学校

○生徒指導面からの学校教育目標へのアプローチ

（１）生徒指導としての機能を生かした授業展開
・「共感的人間関係」を基盤に「自己決定の場」を与え、「自己存在感」を育むことに高い意識をもった授業を展開し「自己指導能力」の育成を図る。

（２）学級経営を生徒指導の基盤に
・リーダー、フォロワーとなる生徒の育成による学級経営

（３）生徒会活動の充実
・委員会活動を中心とした自主的な生活
・行事等を通じた計画的な集団と個の成長

（４）生徒指導の研究推進
・生徒指導の現状についての反省、研究、研修

（５）非行・長欠・不登校・いじめ対策の確立
・問題傾向の早期発見
・適切な診断に基づいた指導
・学校いじめ防止基本方針に沿った指導
・校内教育支援センター「なのはな」の効果的運営

（６）学校外の機関との協力・連携
・家庭、地域社会、社会教育機関、警察との密接な協力・連携

（７）教育相談活動の充実
・定期の教育相談活動の設定
・日常生活における観察・受容・相談（生活ノートの活用）

（８）学年間の連携
・生徒指導部を中心とした各学年間の連絡・調整及び推進
・職員の共通行動、学校体制の確立

令和8年度
南山中グランドデザイン

学校教育目標 新しい時代を切り拓く生徒

○令和8年度の重点目標

Action 前に踏み出す力（主体性、働きかけ力、実行力、根気強さ）
Collaboration 協働する力（表現力、コミュニケーション力、規範意識、想像力）
Thinking 考え抜く力（課題発見力、創造力、計画力、検証力）

○めざす生徒像、教師像 ※学年目標

1学年 挑戦 ～気づき、考え、判断し、行動する
2学年 自分から、自分で ～新しい時代を切り拓くための柱立て～
3学年 自律・温情・洗練

職員 子供を愛し、情熱と使命感をもった教師
常に自己を磨き、支え合う教師

○特別活動面からの教育目標へのアプローチ

★目標：自己理解を通して、目標の実現や集団生活の向上に努めさせる

1年次：自分の役割を理解し、主体的にその責任を果たす
（前に踏み出す力）
2年次：同じ役割をもつ生徒同士のチームの力を高め、より良い内容を発信する
（考え抜く力）
3年次：多様な考えをもつ生徒同士のチームの力を結集して、新しい価値を生み出す
（協働する力）

○道徳面からの教育目標へのアプローチ

★目標（１）思いやりの心もち、互いに励まし高め合う生徒を育てる
（２）役割に主体性と責任をもち最後までやり抜く生徒を育てる
（３）高い目標を目指し、意欲的、主体的に生きる生徒を育てる
（４）健康・安全に留意した生活を心がけさせる
（５）自己を理解し、適切な進路を選択する能力を育てる

○総合的な学習の時間からの学校教育目標へのアプローチ

★目標

（１）自分が人や地域とともに生きていることを意識できる
（２）探究活動に進んで取り組む能力と態度を身につける
（３）自己を見つめ生き方を考える

第1学年：校外学習 キャリア教育（キャリア倶楽部）
第2学年：自然教室 キャリア教育（職業学習）
第3学年：修学旅行 キャリア教育（進路先訪問等） 進路の実現

白井市
スクール
サミット



郵便番号： 270-1423
所在地： 白井市南山1-6-1
電話： 047-492-1441
FAX： 047-492-3017

○学習面からの教育目標へのアプローチ

【研究主題】「協働的な学び」を通して、生徒一人一人が
考え抜いたことを、適切に表現できる指導の工夫
～「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して～

〔研究仮説〕
（１）学習形態を工夫し、ペアやグループでの学習を積極的に取り入れたり、効果的にICTを活用したりすれば協働的な学習が進み、より深く考え抜く指導ができるであろう。
（２）生徒の学習をしっかりと見て適切に評価すれば、一人一人が「できた！わかった！」と実感し、主体的に学習に取り組める指導ができるであろう。
（３）詳しく調べたり、話し合ったりしないと解決が難しい学習課題を提示し、自分の言葉でまとめを行えば、協働的な学習の中で、考え抜く力や表現力が育つ指導ができるであろう。

〔学習指導の留意点〕
（１）ペアやグループでの学習活動を積極的に推進する。
（２）正しい学習環境をつくり、正しい学習姿勢を励行する。
（３）年度当初に学習規律を徹底する。
（４）正しい学習姿勢「グー・ベタ・ピン・サッ」を励行する。
（５）板書の充実（板書とスクリーンの使い分け）
（６）学習課題を疑問形にし、協働的に取り組まねば解決のできないものを計画的に取り入れる。
（７）まとめを80文字程度の文章で記述させる。
（８）学習に対する評価基準を設定し、それに照らし合わせながら学習指導を行う。
（９）自主的な家庭学習を促し、適切な評価をすることにより、学習習慣を確立する。

〔研修の充実〕
・北総教育事務所による指導室訪問や要請訪問にて、授業研修を行う。
・白井市学校支援アドバイザーによる指導を受ける。
・ICT支援員からICTの効果的な活用方法を習熟する。
・白井市STL'sによる校内でのOJT研修を行う。
・中堅職員から若手の職員への指導、支援を活性化する。
・校内での相互授業参観期間を設ける。
・評価制度の十分な理解と適切な運用を行う。